平成　28　年度事務事業評価表（一般用）

①事務事業名		担当部課			
事業コード 090102	マチごとエコタウン所沢構想推進事業		部課コード	090100	TEL 2998-9133
			環境政策課		
開始年度　平成　26　年度　→　終了年度　平成　30　年度			グループ	マチごとエコタウン推進室	

②事業の概要

事業の種別	■ 自治事務　□ 法定受託事務　□ 法定受託＋附加				根拠法令
分野別計画・指針	マチごとエコタウン所沢構想、第2期所沢市環境基本計画、所沢市地球温暖化対策実行計画				
関連・類似事業	環境基本計画推進事業、温暖化対策事業、環境学習推進事業、埼玉エコタウンプロジェクト関連事業				
総合計画の体系	章	環境・自然	節	環境との共生	基本方針
事業開始の背景	東日本大震災後の社会情勢の変化を捉え、今までの資源・エネルギーに依存したライフスタイルを見直し、次代を担う子どもたちに豊かな自然や持続可能なマチを創っていくための道しるべとして、「マチごとエコタウン所沢構想」を策定し、当該構想に基づく関係事業を開始した。				

③事業の内容

目的（どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に）

今までの資源・エネルギーに依存したライフスタイルを見直し、次代を担う子どもたちに豊かな自然や持続可能なマチを創っていき、太陽光発電設備等の再生可能エネルギーを増やすとともに、市域のおける温室効果ガスの排出量を削減する。

対象（誰を、何を対象としているのか）	対象数	単位			
市民			平成　26　年度	343,067	人
			平成　27　年度	343,321	人

事業の具体的な内容及び実施方法

・メガソーラー所沢運営事業（安定した発電量を継続して確保するための施設の管理）
・市有施設の屋根貸しによる太陽光発電事業（市内27小中学校に太陽光発電設備を設置）
・電気自動車等充電設備設置運営事業（市民体育館に普通充電器、急速充電器を設置、適切な維持管理）
・『実践！創エネ・省エネ』スマートエネルギー推進補助事業（市民、事業者、自治会等が実施する再生可能エネルギーの導入に係る経費の一部を助成）
・地域密着型ローコスト太陽光発電等普及事業（マチエコ応援隊）（機器メーカー及び地元施工業者と協働し、様々な最新エコ機器の普及活動を実施）
・「実践！省エネ」エコファミリー大賞（家庭における省エネ活動前後のエネルギー使用量の違いを感じてもらう機会とする。）
・マチエコ動画コンテスト（本構想について広くPRし、市民への環境配慮に対する意識付け等が期待される動画コンテストを実施する。）

④経費

≪会計種別≫　一般会計	平成　26　年度（千円）		平成　27　年度（千円）		平成　28　年度（千円）
予算現額		116,286		120,203	118,022
決　算（見込み含む）		112,590		115,348	
（非常勤特別職員）（臨時的任用職員）	（0.00 人）	（0.00 人）	（　人）	（0.20 人）	
正規職員人件費	4.02 人	35,058	3.97 人	34,380	
事業費合計		147,648		149,728	
財源内訳　一般財源		147,648		149,728	0
財源内訳　国・県支出金					
財源内訳　その他（　）					

※「財源内訳」について
平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑤実績

	項目名	項目説明	単位		H 26	H 27	H28見込み	将来目標
活動実績	メガソーラー所沢設置運営事業	メガソーラー所沢の総発電量（累計）	MW		1,405	2,704	3,290	5,400
	公共施設への太陽光発電設備設置事業	公共施設における太陽光発電設備の総発電出力（累計）	kW		573	1,065	1,075	1,000
	住宅・事業所に導入する太陽光発電システムの設置件	設置件数（累計）	件		3,879	4,326	5,000	4,000

⑥成果

	項目名	項目説明	単位		H 26	H 27	H28目標値	将来目標
成果指標	市域における温室効果ガス排出量の削減率	平成19年度を基準年とする温室効果ガス排出量の削減率	%	目標値	12.00	2.00	2.35	3.80
				実績	▲ 1.90	集計中	☑「実績」拡大図る　□「実績」縮小図る	
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	▲ 15.83	#VALUE!	↑どちらかをチェックしてください	

⑦改善点

(1)平成27年度中に改善した点（改善内容・その結果について記載してください）	(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
市内小中学校への屋根貸しによる太陽光発電設備の導入拡大（累計27校）や、スマートエネルギー補助金の対象者（自治会等）や対象項目（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の拡大、マチエコ応援隊との協働による既存住宅のスマートハウス化の普及活動の実施等により、本構想の実現に向け更なる推進を図った。	－

⑧評価

評価	今後の方向性			
☑ 継続　□ 終了	事業実施方法（複数選択可）	□ 拡大　□ 縮小　☑ 改善・効率化　□ 現状維持　□ その他	理由	マチごとエコタウン所沢構想実現のため、より一層の創エネ、省エネ等の推進に資する事業を実施する必要があるため。
	次年度予算	□ 拡大　□ 縮小　☑ 現状維持	理由	同上

(1)平成２８年度に取り組んでいる状況	(2)今後の方向性
平成27年度、埼玉エコタウンプロジェクトに決定した松が丘地区を対象として活動を行っていたマチエコ応援隊に係る取組みを他の地区へ展開する。（取組みの水平展開）また、本構想の趣旨や事業成果等を幅広く周知するため、所沢市マチエコ動画コンテストを開催するとともに、本市環境の魅力をまとめたマチエコPR動画を作製する。	引き続き、本構想の普及啓発活動に注力し、既存事業の波及性を高めるとともに、更なるエネルギーの有効利用に係る取組みを実施していく。また、平成29・30年に2カ年で環境審議会おいて、マチごとエコタウン所沢構想（第2次：平成31年度－平成35年度）の策定に向けた審議を行っていく。

評価日	H28.8.19	評価者職氏名	環境政策課長　大舘　真哉

⑨環境影響

有益な環境影響			有害な環境影響を及ぼす原因活動	文書の作成	規制を受ける環境法令等	無
1-1 地球温暖化対策の推進	2-1 ごみの発生・排出の抑制				緊急事態	無
3-1 みどりの保全と創出	6-1 環境教育・環境学習の充実					